

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	地域コミュニティ学
科目基礎情報						
科目番号	0233		科目区分		専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科	創造工学科		対象学年		1	
開設期	通年		週時間数		1	
教科書/教材	プリントを配布					
担当教員	神田 和也					
到達目標						
1. 地域の基礎データ、産業、伝統、文化を理解することができる。 2. 居住する地域を話題に他者とコミュニケーションできる。 3. 居住する地域の特徴などを他者が理解できるよう表現できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	居住する地域の問題点や将来を考えることができる。		地域の基礎データ、産業、伝統、文化を理解することができる。		地域について、理解しようとしな	
評価項目2	他者の発言を促すようコミュニケーションを誘導できる。		居住する地域を話題に他者とコミュニケーションできる。		他者とコミュニケーションできな	
評価項目3	表現において、図表等を用いて、さらにわかりやすく表現できる。		居住する地域の特徴などを他者が理解できるよう表現できる。		他者が理解できるような表現がで	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	居住する地域の面積、人口などの基本データや産業、伝統、文化、習慣などを知ると共に、それらを話題に他の学生とコミュニケーションする。					
授業の進め方・方法	グループワークを主に、前後に基調講演、アイスブレイク、発表を実施する。グループワーク際は、ファシリテーターより助言をもらながら進める。					
注意点						
事前・事後学習、オフィスアワー						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 担当教員の自己紹介、シラバスの見方、授業の目標、進め方、評価の仕方、等を伝える。		科目の内容や進め方を理解できる。	
		2週	基調講演 地域の企業経営者		地域の産業や将来について理解できる。	
		3週	アイスブレイク グループ分けする前に、学生の心を打ち解けるようアイスブレイクを実施。その後、主に山形県の4月地域ごとの集まってもらい、地域ごとに4名1組のグループを結成。各自自己紹介。		グループ内で自己紹介でき、他のグループ員のことも理解できる。	
		4週	学校探検 「中学校と違う新しい発見」をしてもらう。個人でもグループで校舎内自由行動。新しく発見できた内容を作文で報告。		指示されたミッションを理解し、行動し、得た知識・知見を文章で表現できる。	
		5週	第1回グループワークの問いかけ 人口、面積、産業、食べ物、方言、伝統、文化などをまとめる		グループワークで実施すべき内容を理解できる。	
		6週	グループワーク グループごとに問いかけに対し、発表を目標にディスカッション		グループ内でコミュニケーションできる。	
		7週	発表会 地域ごとで開催		発表することができ、さらに発表を聞いて内容を理解することができる	
		8週	発表会 全体で開催		発表することができ、さらに発表を聞いて内容を理解することができる	
	2ndQ	9週	パネルディスカッション 各学科5年生が学科についてディスカッション ⇒ 感想文		他者の会話を聞いてその内容を理解でき、文章としてまとめることができる	
		10週	グループ分け 違う地域出身の4名でグループを構成。自己紹介		グループ内で自己紹介でき、他のグループ員のことも理解できる。	
		11週	グループワーク 近い将来のコース選択等を含めた将来についてディスカッション		グループ内でコミュニケーションできる。	
		12週	発表会 小規模		発表することができ、さらに発表を聞いて内容を理解することができる	
		13週	発表会 全体		発表することができ、さらに発表を聞いて内容を理解することができる	
		14週	基調講演 ○○○・・・・○		講演内容を理解でき、理解した内容を文章で表現できる	
		15週	基調講演 ○○○・・・・○		講演内容を理解でき、理解した内容を文章で表現できる	
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				

	4thQ	8週		
		9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術史	技術史	歴史の大きな流れの中で、科学技術が社会に与えた影響を理解し、自らの果たしていく役割や責任を理解できる。	1	
		グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	20	30	30	0	100
基礎的能力	0	20	10	20	30	0	80
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	10	10	0	0	20